

質義応答の内容

Q1 市内の公園について、多目的トイレだけではなく障がい者遊具の設置も考えて欲しい。

A1 現状は誰でも安心して使える多目的トイレがあることによって、誰もが公園で遊んでいただけるという観点から、多目的トイレの整備を優先的に進めている。

Q2 これから活動を進めていく上で、歩歩路にある市民活動センターの利用を薦められたが、市民活動センターのエレベーターはストレッチャー型の車椅子では使用することができない。

A2 市民活動センターに備わっている中間支援サービスについては、歩歩路以外の会場で活動していても利用は可能である。是非、本サービスを御活用いただき、活動を継続いただきたい。

Q3 マラソンコースリバティの活用について、どのような障がいを持っている方でも参加が可能なイベントを幅広く実施するべきである。

A3 現時点ではそのような大会を、市が主体となり企画をして実施することは考えていないが、市民団体の皆様が実施するのであれば、可能な範囲内において市として支援をさせていただく。

Q4 本日の回答の内容をいただくことは可能か？

A4 要約したものを提供させていただく。

Q5 ホームページにも掲載してほしい。

A5 ホームページにも掲載する予定である。

Q6 職員の意識改革とか接遇の訓練について、具体的な取り組みの計画について伺う。

A6 ヒト・カネ・モノを効率的に効果的に活用するための行政経営戦略というものを現在作成している。それに伴い、市長の方針、方針管理、また職員の目標管理を取り入れていながら PDCA サイクルで回していくというような考え方で職員の意識改革をしていく。

職員の接遇の訓練については、常々研修の中でも取り入れている、また新規採用職員には初回の研修で社会人のマナーについての研修を受けている。また市長への手紙において、接遇についての御意見をいただく毎に、人事課から徹底するよう通知をしている。

Q 7 既存の職員に対しての接遇研修はあるのか。

A 7 百貨店の接遇の担当者から職員への研修会を開催予定である。

また職員を育てていただくのは市民の皆様であると思っている。職員の接遇について足りないところはどんどん御指摘をいただきたいが、良いところがあれば褒めてもいただきたい。幹部が言うよりも、市民の皆様が言ってくださる一言が職員にとって一番ありがたいものであり、またやる気にも繋がり、結果的に職員が成長するものと考えている。

Q 8 日本遺産登録について、歴史文化基本構想を作成しておくべきである。

A 8 歴史文化基本構想については、今後作っていきたいと考えているが、次のオリンピックまでに作成するのは厳しい状況である。

日本遺産に登録が出来なくても、観光資源をストーリー化することは一つの手法で、大変有効であると認識している。観光客を惹きつけるような、そういった面白いストーリーを作成するために、今後も皆様のお力をいただきたい。

Q 9 今後、観光協会の強化に力を入れてほしい。

A 9 30年度から市では観光協会への補助金を増額し、人員を新たに2人ほど増員してやっていきたいと考えている。企画部門を設置し、地域にある資源を旅行会社へ売り込んでいくようなこともやっていきたいと考えている。

Q 10 牧の原のアートイベントの提案について、シティプロモーションの視点での回答が欲しかった。文化やアートを一つの切り口として訴えていき、それが地区のブランド力を高めていく。そういう視点も織り込んだ質問である。

A 10 地域全体をそれぞれの特色や文化の中で、どのように盛り上げていけるのか、またそのためにアートをどう活用できるのかという質問であると認識している。

しかし、どんなに素晴らしい提案であっても、行政だけでやれることには限りがあり、自らやるという発想がなければ、実現が難しいと考える。

Q 11 公害に関しては産業を守りながらも子ども達のために責任ある行政指導をもっと真剣に考えていただきたい。

A 11 万が一、公害問題が生じた場合は、法令に基づき適正な指示改善命令をしていく。

Q 1 2 情報公開について、閲覧状況が少なければやめてしまうのか

A 1 2 情報公開については、請求をいただければ5年前のものでも提供が可能なものは全て提供させていただく。しかし、全ての情報を一律に5年間ホームページ上に掲載する必要性については、皆様と議論を深めていく一つの課題であると考えている。

Q 1 3 広報しまだの外部評価制度設計案の提案については、問題があった時に後日それを検証するような制度を制度的に保証して欲しいというものである。

A 1 3 広報しまだのチェック体制については、内部で検討させていただき、対応可能なところは対応していきたいと考えている。